

体育祭



7月24日(金)、体育祭が行われました。一昨年まで行われていた「湯の浜強歩」に替わる行事として約40年ぶりに復活した体育祭。生徒たちにとっては前例がない初めての行事に取り組むこととなり、準備の段階から、試行錯誤、実行委員会を中心に計画・実施したということもあって、非常に思い入れの強い、素晴らしい行事となりました。

今年度のテーマは「SPORTS HIGH!!!」。1年次から3年次まで各年次1クラスずつの構成で赤・青・黄・緑・桃の5組に分かれ、様々な競技を競い合いました。午前中はあいにくの雨でしたが、体育館で玉入れや貯蓄リレーなどを行い、午後からはまだ水溜りの残るグラウンドで、騎馬戦や棒倒し、混合リレーなど、手に汗握る熱い戦いが繰り広げられました。泥だらけになりながらも、年次を超えて一生懸命競技を競い、応援をする姿に、体育祭を通じて学校全体がまとまったことを実感することができました。

結果は応援賞をとった緑組が総合優勝、競技では青組が第1位ということになりましたが、勝ち負けだけではないたくさんのお話を学べたのではないのでしょうか。そのパワーを、これから様々な場面で発揮して、活躍していつくれることを、大いに期待しています!!



「オーストラリア海外研修を実施して」

2年次 英語理解担当

2年次「英語理解」選択者14名は、平成21年7月30日～8月7日までの9日間の日程で、オーストラリア海外研修に参加し、全員無事に帰国することができた。現地(ケアンズ市)での研修は、語学センターでの語学レッスン・世界遺産巡り・ホームステイという3つの活動が中心となり、初めて見る世界に、皆、目を輝かせていた。研修最後の日の生徒達の感想は「1週間程度の滞在では短すぎる、1年間留学したい、オーストラリアの大学に進学したい、オーストラリアで将来働きたい」等、すっかりオーストラリアの虜になってしまったようである。

渡航前、インフルエンザ感染の危険性から、海外研修実施を懸念する声も多かったが、実際に実施してみて、今は本当に良かったと思っている。現地での様々な体験により、生徒は少なからず成長し、何より今後の英語学習への大きな動機づけとなったようである。

海外研修実施にあたり、学校関係者・保護者の皆様・旅行者の方々には本当にご尽力頂き、心から感謝申し上げます。



ハンガリーからようこそ!

H21.8.25～H22.1.3までの約4ヶ月半、ハンガリーからミテルコー・イロナさんを留学生としてお迎えすることになりました。

イロナさんは17歳、ニックネームは「マジ」です。2年1組のHRに入ります。秋の爽やかな風のように澄んだ雰囲気を持ってきてくれました。イロナさんを紹介します。日本の印象など楽しく話してくれました。



趣味は、読書、ピアノ、外国語の勉強…特に外国語の勉強には力をいれています。母国語のハンガリー語はもちろん、英語・ドイツ語・フランス語・日本語そして中国語・スペイン語にも勉強の幅を広げています。日本の印象は、まず空気がいい匂いで緑が多いことが素敵。どこを見ても、色・空気が明るい。日本人はみんなとても親切で、常に笑顔で接してくれる。でも常に穏やかな顔なので本心が読めないような、そんな気がします。日本の授業も楽しいし、料理もとてもおいしい。特にお弁当が毎日楽しみです。毎日、楽しく時間をすごしたいと思います。

イロナさんは、2年1組の授業そしてHR・昼食・掃除・部活動などに参加します。せっかくの機会ですのでしっかり交流しましょう。

学校説明会

8月3日(月)、本校にて中学生に向けての学校説明会が行われました。

初めに、全体会で学校の概要説明、学校行事等の説明が行われ、続いて体験授業が実施されました。様々な教科で授業が行われ、各中学校から参加した中学生たちも、初めての体験に驚いたり、楽しんだり、興味を持って積極的に授業を受ける姿が見られました。

体験授業の後には部活動見学も行われ、高校生たちの熱心な練習風景に、高校生になった自分の姿を重ね合わせた人もいたのではないのでしょうか。

来年度もたくさんの生徒が西高に入学することを期待します。



クラスマッチ



8月27日(木)、28日(金)にクラスマッチが行われました。初日は晴天にも恵まれ、唯一屋外で行われたソフトボールもすべての試合を行うことができ、2日間に渡るクラスマッチを無事終了することができました。

初日にはクラスTシャツコンテストも行われ、各クラス趣向を凝らしたパフォーマンスを繰り広げました。

2日間通して各競技で熱いプレーと熱い応援が見られ、クラスが一致団結した素晴らしいイベントになったのではないのでしょうか。結果は男子バレー・女子バレー・卓球の3種目で優勝した3-4が見事総合優勝！他にも年次を超えた様々な活躍が見受けられました。3年次にとっては最後のクラスマッチ。この団結力で、これからのそれぞれの進路実現にむけて頑張ってください！



張輝さん、ありがとう！

7月下旬、昨年度から来校していた中国人留学生の張輝(ちょうき)さんが、その留学期間を終え、帰国の途に着きました。素直でかわいらしい張輝さん、たくさんの愛情をありがとう！

*張輝さんからのメッセージ

「あっ」という間の11ヶ月でした。でも、中国にいたときには想像できなかったたくさんの経験をしました。まず、学校生活で一番思い出深いことは、修学旅行でした。京都や奈良の古い歴史に触れたことはもちろん、初めて日本の友達と食事をしたり、夜遅くまでおしゃべりしたこと、とても楽しかったです。語りきれないほどの思い出がたくさんあります。

私は中国の13億人の一人に過ぎません。中国には56の民族がいて、いろいろな生活や文化があります。ぜひ皆さんも中国のいろいろな面を自分の目で確かめていただきたいと思います。

皆さんは中国の一人の留学生のことはすぐに忘れてしまうかもしれませんが、私はきっと西高での学校生活を忘れないでしょう。本当に、本当にありがとうございました。